

2014年度以降の環境目標

JR東日本グループでは、1996年から具体的な目標を定めて環境保全活動に取り組んでいます。今回2013年度目標として2011年度より取り組んできた環境目標がその対象期間を終えたことや、2020年度目標（鉄道事業のエネルギー使用量8%削減）を見据え、取り組みを継続する必要があることから、2016年度を達成年度とする環境目標を設定しました。

環境保全活動の分類	項目	2020年度達成目標	新目標(2014年度以降の達成目標)
地球温暖化防止への取り組み	鉄道事業のエネルギー使用量	8%削減(2010年度比) 527億⇒485億(MJ)	【継続実施】
	自営電力のCO ₂ 排出係数	30%改善(1990年度比) 0.457⇒0.320(kg-CO ₂ /kWh)	【継続実施】

環境保全活動の分類	項目	2013年度達成目標	新目標(2016年度達成目標)
地球温暖化防止への取り組み	単位輸送量あたり列車運転用電力量	6.8%削減(2006年度比) 1.85⇒1.72(kWh/車キロ)	新幹線・在来線それぞれ5.9%削減(2010年度比) 新幹線:2.71⇒2.55(kWh/車キロ) 在来線:1.65⇒1.55(kWh/車キロ)
	支社等における単位床面積あたりエネルギー使用量	3%削減(2010年度比) 0.0467⇒0.0453(kL(原油換算)/m ²)	15%削減(2010年度比) 0.0467⇒0.0397(kL(原油換算)/m ²)
	【新規】エコステモデル駅の整備	—	累計8箇所
	【新規】ホーム照明のLED化(2014~16年度内)	—	60駅に50%以上の導入
	【新規】大型空調設備の高効率化(2014~16年度内)	—	5箇所(4,700万MJの削減)
	【新規】グループ会社各社が設定するエネルギー使用量原単位の削減率	—	グループ全社で年平均1%
資源循環への取り組み	駅・列車ゴミのリサイクル率	90%	94%
	総合車両センター等で発生する廃棄物のリサイクル率	95%	96%
	設備工事等で発生する廃棄物のリサイクル率	95%	96%
	【新規】グループ会社におけるリサイクル実施率	—	100%
沿線での環境活動	東北・上越新幹線の騒音対策75dB※以下(騒音対策対象地域について)【継続】	100% 【2015年度達成目標】	【継続実施】
環境マネジメント	グループ会社全社が具体的な数値目標を設定	継続して目標設定	継続して目標設定

表内 はグループの目標。

※ 国の指導により指定された地域の75db対策については既に完了している。現在、2015年度完了を目的に、それ以外の地域についても段階的に改良工事を進めている。